

相互に学び合う 教育と臨床

東邦大学看護キャリア支援センターの取り組み

病院ごとの教育体制や規模の違いを超えて役立つ研修とするには、一人ひとりの看護師が自ら考え、やりがいをもって現場での実践を行なえるように支援することが重要である。特に、キャリアプランやライフイベントにおいて岐路に立つ中堅看護師を中心に教育することで、その看護師が職場のリーダーとして影響力をもち、部署を活性化するようになると期待できる。

東邦大学看護キャリア支援センターでは、基礎教育と現任教育について大学・専門学校と病院が相互に学び合い、現場のニーズに沿った研修をつくり上げてきた。本特集では、教育・臨床双方のモチベーションを高め、連携強化につなげるための取り組みを紹介する。